NPO法人 八幡たけくらぶ

会報 第6号

2013年～2014年の記録

竹に親しむ仲間の活動記録

京都・男山
創ろう・自然豊かな里山を！

NPO法人八幡たけくらぶ
活動基本方針

1　八幡市及びその周辺の里山或いは竹林の本来の景観を取り戻し、竹林と雑木林の共生を図り、かつ維持するようにボランティア活動をすること。

2　里山或いは竹林の所有者との合意に基づき、景観保全の為に以下の活動を行う。
　① 該当地区の植生調査、生態観察
　② 竹林の間伐、除伐、下草刈り作業
　③ 廃材の処分及び有効活用

3　廃材としての竹材の有効活用を通じて、環境保全を図る為に次の活動を行う。
　① 竹炭・竹酢液の製作とその環境保全への利用並びにその利用方法の研究
　② 竹を通じて里山の動植物の生態学習
　③ 竹細工を通じて里山の自然に接し、学校教育や地域の子供会行事等への支援活動

4　会員は上記活動の為に、里山管理・竹林管理・竹細工などの基本を学び、作業を通じて技術の習熟と蓄積に努め、かつ会員相互の親睦を図る。

目　次

	ページ
はじめに・・・・・・・・・・・・・・	1
会報６号発刊に寄せて・・・・・・・	2
地権者様からの言葉・・・・・・・・	3
新たな取り組み・・・・・・・・・・	4
展望台の整備活動・・・・・・・・・	5～7
竹林整備活動・・・・・・・・・・・	8～11
安全作業の取り組み・・・・・・・・	12
地域奉仕活動・・・・・・・・・・・	13～19
外部交流活動・・・・・・・・・・・	20～21
会員の親睦・・・・・・・・・・・・	22～23
竹細工同好会・・・・・・・・・・・	24～26
会員の広場・・・・・・・・・・・・	27～29
マスコミ（ＴＶ，新聞，他報道）・・	30～31
活動実績・集計表・・・・・・・・・	32
歴代役員名簿・・・・・・・・・・・	33
１２年間の活動記録・・・・・・・・	34～37
会員名簿・・・・・・・・・・・・・	38
編集後記	

八幡たけくらぶの概要

法人名
特定非営利活動法人八幡たけくらぶ
（通称　NPO法人 八幡たけくらぶ）

住　所
京都府八幡市欽明台中央11－1
（理事長宅を住所とする）

TEL/FAX　075-983-2730

H・P　http://www7a.biglobe.ne.jp/~takekurabu/

男山「展望の館」…たけくらぶの活動拠点
京都府八幡市八幡平ノ山84

役　員
・理 事 長　森脇　勉
・副理事長　西岡　力　熨斗信治
・事務局長　三宅　洋
・会　　計　日高正昭
・理　　事　鶴見達也　寶田延由　井藤　學　岡本淳次
　　合田洋一　三島之昌　向井忠昭
・監　　事　大高友紀

はじめに

八幡たけくらぶの発足

2002年4月に八幡市教育委員会の呼びかけで「男山の自然観察と植生調査のボランティア活動」に参加し、放置竹林の拡大を目の当たりにして、「このままでは男山の自然の生態系が崩れる！竹と樹木を共生させるボランティア活動が必要」と感じた有志5人が集い、2003年4月に**「八幡たけくらぶ」**を立ち上げ、以来12年が経過し、会員も100名を超えるまでになりました。

会報発行

活動内容を2年間隔で纏めた、会報第1号～5号に続き、2013年～2014年の記録を纏めた、会報6号を発行する運びとなりました。（第1号～5号は八幡市民図書館、男山市民図書館で閲覧できます。）

この間、**「八幡たけくらぶ」**の活動理念である自然環境保全にお役立ちするため、男山の自然と景観を守り、男山が八幡市のシンボルとなるよう、奉仕活動に参加した会員の皆様の努力が輪を広げ、継続を支えたと思います。

加えて、活動フィールドの提供を戴いた理解ある地権者、行政関係者・報道関係者・文化協会関係者等、皆さんのご協力よって会が成り立っていることに、深く感謝申し上げます。

2012年6月からは、男山の展望台に我々の活動拠点として「展望の館」が、地権者の小谷様のご厚意により開設でき、活動パネルやパンフレットによるPRによって、新しく会員になられた方も少なくありません。

また、主に地域とのかかわりを重点に、多くのイベントに参加し、自然環境保全の重要性をアピールしてきました。

2013年6月には全国レクレーション協会から、奨励賞も受賞いたしました。

2011年度に取得しました「京都創造基金」に120万円を超える寄付金が寄せられました。これは、基金を通じて寄付をした場合、寄付者が優遇税制を受けられることが出来るものです。今後もこの制度を活用して、多くの方々のご支援を頂いて更に充実した活動の展開を実施したいと思います。

今後は築いてきた信用を生かして、さらに活発な活動を行い、行政・市民・関連団体に愛され、お役に立てるよう努めますので、一層のご支援・ご協力をお願い致します。

会員の皆様へ

八幡たけくらぶの活動は自然環境保全を通じて社会奉仕することはもちろん、地域社会への繋がり、友達の輪を広げ、新しい発見ができるなど、いろんな体験ができることを訴え、一人でも多くの協力者をお誘い願います。

この会報が多くの仲間を増すことに、活用して頂けますことを期待いたします。

会報6号発行に寄せて

八幡市長
堀口　文昭

八幡たけくらぶ　会報第6号のご発刊おめでとうございます。

平成15年4月、5人の発起人でその歩みの第一歩を踏み出され、NPO法人化を経て、 今日では会員数100名を超えるまでに成長されました。　この規模は、市内NPOの中でも最大規模であり、役員の皆様をはじめ会員の皆様の真摯な取り組みの成果であるとお喜び申し上げます。

八幡たけくらぶの皆様は、八幡市里山再生協議会の一員として、男山の放置竹林の整備による景観保全、男山展望台周辺環境整備や竹細工の制作・販売などを通じた観光振興、各種イベントでの竹細工教室など文字通り、“たけ”を中心とした活動を展開されています。皆様には行政がこれまで取り組もうとしてできなかった八幡の竹林の再生や展望台周辺整備などを通じ新たな課題を発見し、その解決に向け、NPOならではの活動をされていることに深い敬意を表するものでございます。

八幡市では、旧東小学校校舎を改修し、NPO団体等の活動を支援するため、平成25年3月に市民協働活動センターを開設しました。八幡たけくらぶの皆様には、同センターを積極的に活用していただいているところでございますが、この輪がますます大きくなるようにご協力のほどよろしくお願いいたします。

結びに、八幡たけくらぶの皆様が、“たけ”を中心に、自然環境保全活動をはじめ、観光、健康づくりなど多方面の活動を展開されますことを祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

京都府山城広域振興
局農林商工部
森づくり推進室長
澤井俊秀

NPO 法人 八幡たけくらぶ会報第6号へ京都府の代表として寄稿させていただけると聞いて喜ばしく思います。と言いますのも、府職員として永く勤務していますが、京都市以南の赴任は始めてであり、森林資源の豊富な北部と比べて南部は一体どういうことをやっているのだろうと思っていました。ところが、こちらに来てみますと山や自然を愛する人が多く、森林ボランティア団体が非常に積極的に山に関わっていらっしゃる。しかも、間伐や、竹林整備に止まらず、炭や燻煙処理まで高度なことにも取り組まれており、京都モデルフォレスト運動が掲げる第2ステージ、つまり横の繋がりや多角的な取り組み、これが既になされている、大変驚きました。

考えてみますと、京都は都として栄え、常に文化の先端にあります。文明は大河の流れる河口部に発達してきましが、現代では何らかの大きな流れが色々入り混じってぶつかる所と解釈できると思われます。

私は山城という地域がそういう場所ではないかと考えています。つまり、人と森林が入り混じる場所ということです。とりわけ八幡市は、昔から交通の要所であり、情報発信などには最適の地です。現在、会員数100名を超え、大阪などからも参加されており、石清水八幡宮で有名な男山にはアンテナショップも構えておられると聞いています。私はこの販売というジャンルに注目しています。なぜなら日本再生の鍵は補助金行政からの脱却であり、地方が独自色を持って成長することが重要であると考えているからです。

京都府としては今後も色々と協力させていただきたいと思いますし、青く美しい男山がいつまでも続くことと確信しています。結びに当たりまして、八幡たけくらぶの皆様の益々のご健勝とご多幸をお祈りしましてお祝いの言葉とさせていただきます。

地権者様からのメッセージ

「会報6号の発刊に寄せて」

石清水八幡宮
宮司　田中　恒清

石清水八幡宮の鎮座する男山（雄徳山）はアラカシなどの照葉樹林を中心とした歴史的風土を保持しており、昭和58年に「京都府歴史的自然環境保全地域」の第1号として、また、平成24年には「国の史跡」に指定され、創建以来の豊な自然と山内に数多く残る遺構を今日に伝える貴重な神域となっています。

この天然林の中には真竹や孟宗竹といった竹林もありますが、ここ近年における孟宗竹の繁殖は著しく、天然林を脅かす勢いで植生範囲を広げておりました。そのような状況の中、男山の植生を保つため竹林整備のお話をいただいたのが「八幡たけくらぶ」の皆さんになります。

当初は散策道沿いの竹林整備のみをお願いしておりましたが、木津川・宇治川・桂川の三川合流が眺望できる男山展望台の景観整備をされたことをきっかけとして、石清水灯燎華開催中には趣向を凝らした展望台のライトアップをご協力いただいております。

皆さんが普段取り組んでいただいている活動は鎮守の杜（森林）を護ることにも繋がっておりますので、単に景観をよくするだけの活動意義ではなく、神域護持の一旦を担っているという意識を今後の活力としていただければ幸いです。

八幡たけくらぶの皆さんがより一層ご活躍され、男山を始めとする八幡市全体の発展に寄与されますことをご祈念申し上げ寄稿のご挨拶まで申し上げます。

本妙寺
住職　小島　研信

石清水八幡宮の表参道の七曲りより少し上がった摂社の下側が当山の竹林です。種類は淡竹と言い伝えられています。5月27日には開山会を行い、淡竹ご飯、淡竹煮を参拝の皆様と頂いております。

60年前の昭和30年代頃までは、竹の利用は多くあり、当山でも2～3年に一度京都市内の竹業者が間引いて持って帰られました。又、別に農家の方や一般の方も竹を持って帰られました。この様にして竹林は守られてきました。しかし、年月が経ち竹の需要も少なくなり、竹林は荒れ放題になりました。竹も立木も枯れ、筍が出ても竹にはなりきれずにいました。又、竹が密集しすぎて竹の根、本来の「力」がなくなり、根っ子ごと倒れてしまい、竹林自体の強度も失われていき、山全体の保水力もなくなり、場合によっては大きな災害になる危険さえ危惧されます。

全国的に放置竹林が大きな問題として取り上げられています。八幡においても「八幡たけくらぶ」が活躍されており、当山の竹林にも、くらぶの方々のお力添えにより入って頂きました。以前は竹林の中には道がありましたが、現在は竹が密集しているため道がなくなりました。本年1月に山に入ると見違えるほどになっていました。きれいに整備され、道も出来、伐採した竹も笹も整理されていました。徐々に60年前の竹林に蘇ってきたと実感しました。「八幡たけくらぶ」の皆様に感謝申し上げます。今後とも、けがや事故の無いようにご留意されますと共に、八幡たけくらぶのご発展をお祈り申し上げます。

新たな取り組み

「黒竹、布袋竹、小町竹、ラッキョウ竹」の育成の取り組み

島田第1竹林の東側は昔「黒竹林」があり、地権者の島田様から是非復活させたいとの申し出と共に黒竹の苗を寄付頂き、竹の伐採活動だけでなく、珍しい竹の育成にも取り組もうという事で2010年から始めた活動です。島田第1竹林に黒竹を植えてから4年が経過し、立派な黒竹林になって来ました。

島田竹林に植栽した「ラッキョウチク」

その後、石山で採取した「ホテイ竹」を移植し、現在2本のホテイ竹が育っています。又、広島に研修旅行で行った際に頂いた「こまち竹」を上林第1竹林に移植し、菊池さんの寄付による「ラッキョウ竹」も島田第1竹林に植えました。途中草刈の際、刈り払い機で伐ってしまったこともありますが、珍しい竹の育成にも取り組んで来ています。今後も機会があれば地権者の方々のご理解を頂きながら継続した活動にして行きたいと思います。

島田竹林に植栽した「黒竹」

森林・山村多面的機能発揮対策交付金

＜2013年度より助成採択＞

2013年度から開始された林野庁の森林・山村多面的対策交付金制度に応募し、初年度から交付金を頂けるようになりました。申請書類作成には、山城広域振興局の山路さんのご協力も得、また、京都モデルフォレスト協会のご指導も受け苦労もありましたが無事採択され、2014年度も引き続き交付されました。

この制度は、居住地近くの里山林が、かつては地域住民により維持・管理されてきていたものが、昭和30年代の石油・ガスなどの化石燃料の普及、化学肥料の普及等により、侵入竹などによる荒廃が進んでいることから、林野庁が地域住民や森林所有者、NPO法人、民間団体などと一緒に活動組織を作って、里山林の保全管理や、資源を利用するための活動に対して支援を行われるものです。

対象の活動として、里山林保全や侵入竹除去・竹林整備や、森林資源利用タイプ、さらには森林空間利用タイプが挙げられています。

初年度は、侵入竹除去・竹林整備のコースに申し込み、竹林整備に必要な竹切り鋸と剪定バサミ等の機材と、安全に活動が出来るようヘルメット・手袋と枯れ損木の除去のためにも使わせて頂きました。

2年目は、新入会員の為の活動に必要な機材購入と、安全靴の購入などに使わせていただきました。

この制度は3年間継続されますが、2016年度以降は制度がなくなる予定ですので、新たなる活動費の確保が必要になります。

展望台整備活動

2012 年 6 月に小谷様のご厚意によりお借りした「展望の館」を含む、展望台公園が会員の努力で素晴らしい景観がよみがえり、訪れる一般の方からも、見違えるようになったとのお声を聞くようになり、訪れた方の中から活動に賛同して入会して頂いた新入会員も多く、今では「展望の館」集会所は八幡たけくらぶ発展の活動拠点として、大きな存在になりました。

毎月"第1水曜日"に「定例活動」「展望台管理委員会」を開催、2014 年は延 900 名の参加がありました。以下 2 年間の活動記録を列記します。

展望台公園の整備

2013 年 12 月桜の老木の伐採を上田造園に依頼、安全確保と、眺望の改善に取り組みました。同時に、竹フェンスの設置・椅子の新設等を実施。

2014 年 8 月
植樹計画を行い、展望台斜面には「ミツバツツジ」を、展望台下の草刈をした場所には「ウメノキ」を植樹計画し、植栽委員会を発足。
委員長(寶田)委員 (日高、熨斗、岡本力、平野、船木)の6名を選出。

2014 年 11 月
展望台斜面にミツバツツジ 20 本を植樹、
苗木は、「作庭舎・冨野」から寄贈された。

2015 年1月
「ウメノキ」(花梅)10本を植樹。

展望の館の補修

・2013 年 9 月　　展望の館の土間修理完了。

・2013 年 10 月
展望台斜面の
草刈、雨どいの
掃除と修理。

・2014 年 6 月
竹細工作業が外で
出来るようにと
屋根を設置。

2013 年 10 月
雨天時の対策としてバラスを敷く等の活動を実施。

2014 年 10 月
玄関屋根のペンキ塗りが12月10日に有志の会員のご協力で終了した。また、燻竹による壁の張り替えと、展望台入口のバラスひきも完了した。

その他
＊藤棚の補修

＊室内、照明器具の補修・増設

＊厨房の補修

＊網戸の設置

等、会員の皆さんのもつ、経験や技術を生かした補修整備のおかげで、一段と充実してきました。

竹細工展示・販売

2012 年 11 月から始めた竹細工展示販売は順調に推移し、今では販売額の一部を八幡たけくらぶの活動資金にご寄付頂いた額で、展望の館管理費用が賄えるまでの成果を上げるようになりました。
趣味とはいえ、自宅でコツコツと製作し、販売に協力頂いた会員と同時に割り当てられた当番を勤めて頂いた会員の皆様に改めて感謝致します。

60 種類以上の作品を展示販売しています。
その一部をご紹介します。

展望台公園の四季

四季折々に変わる展望台風景は、訪れる客が感動する素晴らしい景観です。市民の憩いの場として親しまれる公園目指して、八幡たけくらぶが市民の皆様の協力を得て推進します。

春は、背割り堤の桜を見て、ケーブルで山頂へ・・・眼下に背割り堤が一望でき、展望台の花見も楽しめます。

夏は、深緑でつつまれた木々の間を通りぬける風は、涼しさと森の香りを運んできます。手作りベンチで木陰の時間を楽しめます。

秋は、紅葉が感動を与えてくれます。2014 年度は、訪れる人数が昨年の 3 倍以上になったと思われます。昼食時には、レジャーシートでお弁当・・・など、微笑みたくなる光景が広がります。
2014 年は、紅葉の時期に「展望の館」も連続して開館し（11/22～12/7）多くの来訪者を迎えました。

冬は、澄み切った空気が京都市内はもちろん比叡山・愛宕山などの眺望を一層楽しませ、落葉樹の多い展望台から、男山の山頂、「鳩ヶ峯」まで見渡せます。

石清水八幡宮

灯　燎　華

＊2013 年度

5/3（金）～5/5（日）メインタイム 16:00～21:00
「*心の灯り、祈りの灯り*」をともす3日間」として、
①エジソン記念碑ライトアップ　②山麓・頓宮ライトアップ（当くらぶ製作の行燈にて）他　境内各会場、21:00 まで点灯された。（ケーブルも 22:00 まで運行）　**「展望台集会所」**もライトアップ、21:00 までオープンしました。

＊2014 年度

4 月 1 日（火）～6 日（日）と例年より 1 ヶ月早く開催され、昨年に引き続き竹灯籠での飾り付けのほか、等身大竹人形・集合行燈（写真）を作成、展望の館の開館と展望台公園ライトアップも3日間実施。
昨年以上に盛り上がりました。

五山送り火

毎年 8 月 16 日五山の送り火（左大文字・妙法）が、展望台から鑑賞できます。

その他

1、石清水八幡宮の夜間拝観に伴う「展望の館」開館について

2013 年 7/13～8/31 の期間「JR東海のキャンペーンによる石清水八幡宮の夜間拝観」に伴い京阪ケーブル電車も 22:00 まで運転され、「展望の館」も 8 月の金・土の夜間と日曜日の昼間に開館しました。

2、2015 年正月の 1 日から 4 日の間は、有志参加で展望の館を開館

3、展望の館での「竹細工講習会」開催

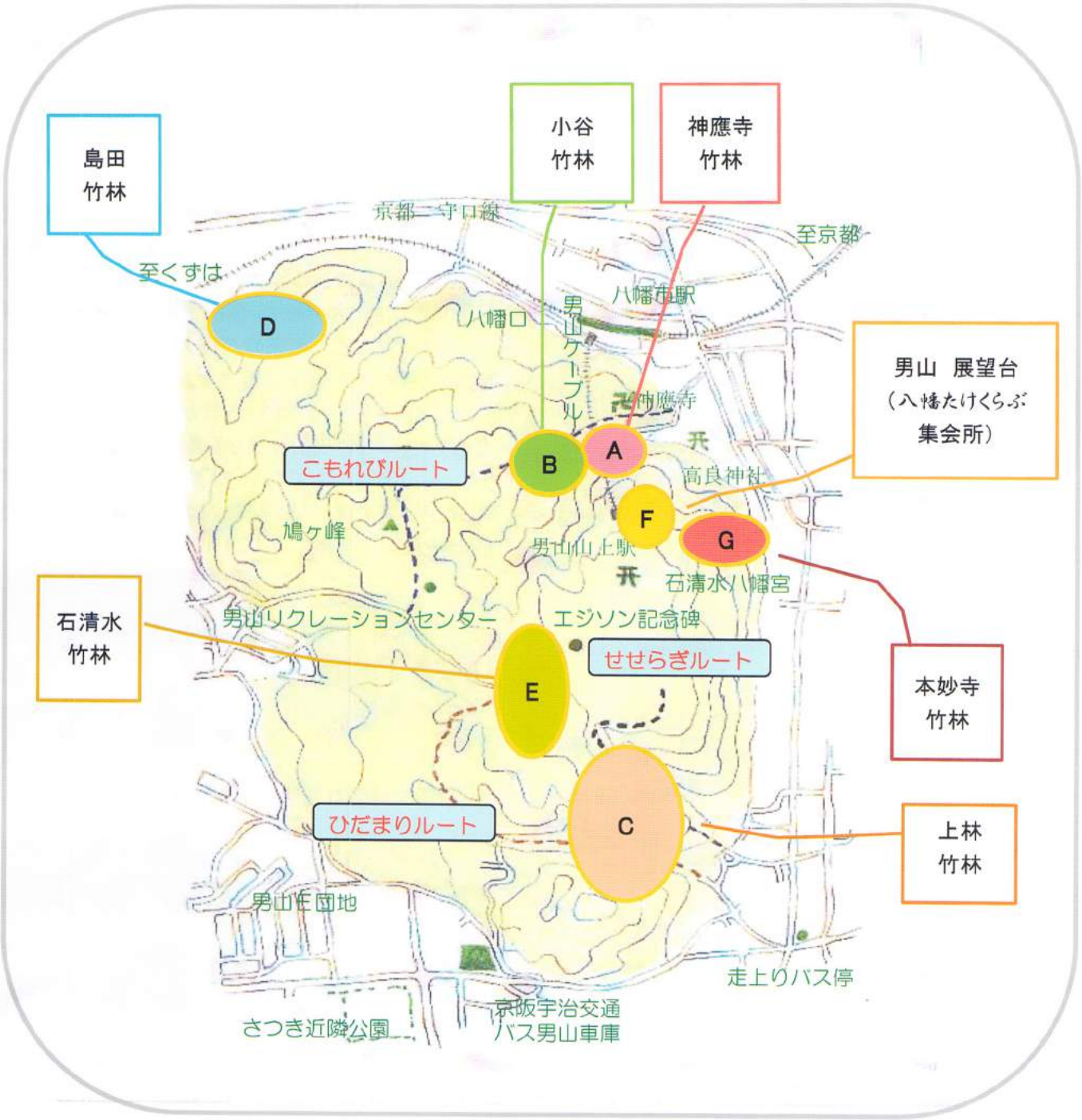
作成者を養成することも含め、新たに「竹細工講習会」を 10 月度の展望定例活動日（第 1 水曜日）に開催しました。

竹林整備活動

男山全景

竹林整備活動は、八幡たけくらぶの活動の原点である「放置竹林を整備し、樹木林と竹林がバランスよく生育する本来の森や里山の姿を取り戻す」ために取り組んでいる活動です。

ここに、八幡たけくらぶの竹林整備活動フィールドを八幡・男山全景航空写真（左）と合わせて下に示す



12年前(2003年)、神應寺フィールドから始まり、小谷フィールド、上林第1フィールド、上林第2フィールド、6年前(2009年)には島田フィールド第1・2と拡大し、4年前(2011年)には石清水八幡宮第2駐車場上(上林第3フィールド含む)、そして1年前(2014年)には本妙寺フィールドと石清水八幡宮・展望台周囲、島田第3フィールドが加わり、合計11ヶ所のフィールドを任せて頂けるまでになって来ました。このことは、我々の地道な活動が理解され、多くの地権者の皆様のご支援・ご協力があったからこそだと思います。

今後も活動の原点を忘れることなく、末永く取り組んでいかなくてはなりません。

活動日の原則は下表のとおりです。

活動日	活動場所・内容
毎月第1土曜日	上林竹林 or 石清水竹林
毎月14日	島田竹林
毎月22日	小谷竹林&神應寺竹林 本妙寺竹林(上記と交互)
月末の3～5日間	伐採竹の粉砕活動

小谷竹林の整備活動　2014.11.22

各フィールド(竹林・活動拠点)の活動開始年

符号	活動場所	活動開始年
A	神應寺フィールド	2003 年 9 月～
B	小谷フィールド	2006 年 3 月～
C-1	上林第1フィールド	2007 年 5 月～
C-2	上林第2フィールド	2007 年 5 月～
C-3	上林第3フィールド	2011 年 1 月～
D-1	島田第1フィールド	2009 年 12 月～
D-2	島田第2フィールド	2009 年 12 月～
D-3	島田第3フィールド	2014 年 9 月～
E	石清水フィールド	2011 年 1 月～
F	男山展望台(八幡たけくらぶ集会所)	2013 年～
G	本妙寺フィールド	2014 年 2 月～

注:符号(A～G)は前ページのフィールド場所を示す。

竹林整備活動実績

<各年度・作業ごとの活動実績>

年度	作業・活動	回数	参加者数
2013 年度	竹伐り・下草刈 ナラ枯れ対策 作業道設置	35	617
	粉砕活動	30	334
2014 年度	竹伐り・下草刈 ナラ枯れ対策 作業道設置	31	617
	植栽活動	2	42
	粉砕活動	27	306

・整備作業(竹伐り・下草刈・ナラ枯れ対策・作業道設置)は、活動日の中を分けられないので一括りとして集計した。

1. 竹伐り・下草刈

八幡たけくらぶの竹林整備作業の基本である間伐竹伐りと下草刈は、神應寺竹林で、最長12年の実績があります。実績のある竹林は、今後は、枯れ竹の伐採・下草刈が中心になります。島田竹林のように、真竹林にする計画のところに孟宗竹が侵入して残っているところでは、孟宗竹の皆伐が必要です。

2014年2月からは本妙寺様からの依頼をうけて、初めはフィールドの状況確認から着手しました。急斜面のうえ、入山通路にスズメバチの巣があり、対応に苦慮しましたが、まずは下草刈と淡竹の間伐整備から取り掛かりました。

島田竹林の竹伐り・下草刈活動　2014.11.14

本妙寺竹林の竹伐り・下草刈活動　2014.07.22

上林竹林では、2014 年度後半からの史跡調査・造成に合わせ、第2フィールドの倉庫移転を含め、下草刈・竹林の再整備・皆伐に取組みました。

上林竹林の下草刈活動 2014.07.05

2. ナラ枯れ対策

石清水竹林に隣接している上林第3竹林では、ナラの木がありますが、全国的にも問題になっている「ナラ枯れ」が発生してきており、山城広域振興局と連携しながら取り組みを開始しました。

山城広域振興局の指導による調査 2014.05.25

上林竹林のナラ枯れ対策活動 2014.05.25

3. 作業道設置活動

上林第3竹林のように大変急な斜面が多いところでは、作業道路を作ったり安全ロープを張ったりして作業を安全にやりやすくしてきています。小谷竹林でも、市民や社員の方の筍掘りが安全に出来るように、作業道の整備に取り組みました。

竹林の作業道整備活動/上林第3F　2014.10.04

竹林の作業道整備活動/小谷 F　2014.11.22

4. 植栽活動

展望の館周囲・周辺の清掃・整備活動の一環として、展望台周辺の植栽計画を立案。ハナショウブ、ミツバツツジ、ハナウメの植付けを実施しました。

展望台周辺の植栽整備活動

5. 粉砕活動

2011年春から石清水八幡宮の第2駐車場下の竹林と、隣接している上林第3竹林の整備活動を開始しました。活動から2年余り経過し、せせらぎルート沿いに積み上げた伐採した竹の粉砕にも着手し、ずいぶんきれいになってきました。

石清水竹林は、2012年夏ごろから第2駐車場の西側斜面も担当する事になり、11月からは駐車場右側の竹林も整備することになりました。2013年からは粉砕も並行して着手することになりました。粉砕機の搬入には、導入路が狭く入り組んでいるため細心の注意が必要です。

島田竹林での粉砕はまだ残った孟宗竹の伐採・粉砕がありますが、竹林中央部の宅地開発と建設が終わり2014年後半からは入居も始まり、今後の粉砕活動には見直しと、その対策を講じることが喫緊の課題になります。

粉砕活動：上林竹林　2014.06.25

粉砕活動：島田竹林　2013.11.26

粉砕活動：島田竹林
2013.11. 29

6. 里山再生協議会における竹林フィールド整備活動
＜男山展望台周辺のフィールド整備活動＞

八幡市観光課からの要請もあり、NPO法人とんかちと共に、2010年度から取り組んできました。桂川・淀川・木津川の3川合流地点が展望台から見えるようになり、活動の成果が出てきました。2014年には展望台下ケーブルへの帰り道両脇の植栽も視野に下草・雑草刈り取り活動を実施してきました。

Before・・・
フィールド整備活動

After・・・
フィールド整備活動

里山再生協議会のフィールド整備活動
2014.07.02

安全作業の取り組み

NPO 法人 八幡たけくらぶ の安全活動

安全委員長　　寶田　延由

2013年から2014年の2年間における主な安全活動についてご紹介します。

私たちの主たる活動は、里山に侵入し無管理状態となった放置竹林を、あるべき姿の竹林に復元する活動を行っています。活動を安全に行うための作業条件、これに基づく作業道具を使用した上で、作業中にヒヤリ！ハッ！とした作業内容を毎月集計し、月度の安全委員会で内容の原因を分析し対策を作成し実行することで、災害を未然に防止する活動を展開してきました。以下にこの2年間に活動した代表事例をご紹介します。

[2013 年の安全活動事例]

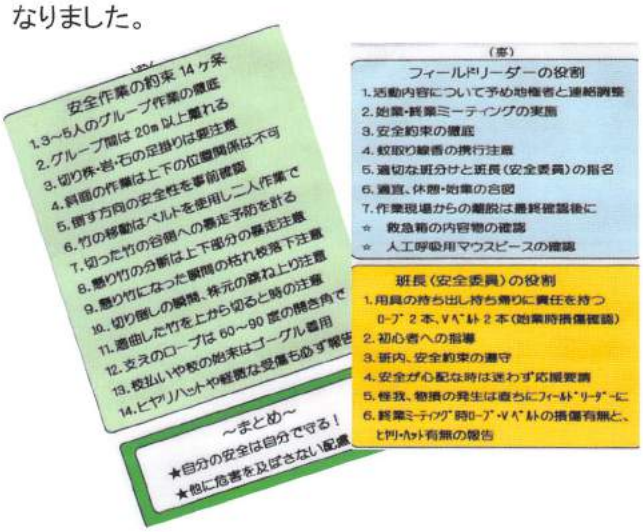
人里離れた里山竹林での活動中に、緊急を要する人命救助が必要となった場合等の対応を学ぶべきと、安全委員会での決定により、日本赤十字社京都府支部による「赤十字救急法短期講習（応急手当コース）」を36名の会員が受講し、人工呼吸等人命救助のやり方を実践しながら学びました。

万一の際には、救急車が到着するまでの間、講習実践で学んだ救助活動が活かされることになります。

[2014 年度の安全活動事例] ー1

今日までの竹林整備活動で体験したヒヤリ・ハットを集計し、安全委員会で内容を分析した結果と、日常整備活動を安全に行うための「安全作業の約束　14ヶ条」を作成し、活動開始時の朝礼で唱和し当日の安全を誓い合う活動をしてまいりました。

残念ながら2013年度は、同様なヒヤリ・ハットを5件体験することとなり、安全対策の強化が必要となりました。



対策として整備フィールドでの「リーダーの役割」内容を明記したミニカード（上記）を作成。更に安全委員を増員して、活動グループ別班長を任命し、「班長の役割」内容を明記したミニカードをセットで作成（上記）し、リーダー・班長はカードを常時ポケットに携帯し、その内容に従った活動を展開することにより、グループ内作業者の安全向上を計ることにしました。この結果でしょうか2014年度は、ヒヤリ・ハットの報告は0件となりました。

[2014 年度の安全活動事例] ー2

定常的な作業である竹林整備とフィールド内の草刈の作業を安全に行うために、「ボランテイアでやる竹林整備の安全作業」「ボランテイアでやる刈払機の安全作業」と題した小冊子（下記）を作成して、これを安全委員はポケットに携帯し作業中の会員にアドバイスができる様にしました。作業方法にとまどった時や安全上不安と感じた場合には、遠慮なくフィールドリーダー・班長・安全委員へご相談ください。

地域奉仕活動

八幡たけくらぶの活動方針の中に環境保全、子供の育成などがあり、年々これらの活動が活発化してきました。竹細工作製においてはノコやナイフを持った事がない子供達に安全な使い方を教えるのは大変ですが、作品が出来た時の子供達の笑顔を見ると、心が安らぎます。ここでは、この2年間で行った数々の行事を紹介します。

一般公募 竹炭焼き

★2014年3月4～5日
会場　男山レクレーションセンター
一般参加　延べ16名会員参加　延べ53名

こども文化祭（文化センター小ホール）

ペン立て作製

★2014年3月15日
一般参加　47名

★2015年2月21日
一般参加　50名
会員参加　14名
会員参加　16名

みんなで創る福祉のつどい

会場　市民文化センター
ガリガリトンボ作製

★2014年3月8日
一般参加　39名
会員参加　17名

★2015年3月14日
一般参加　27名
会員参加　20名

島田近隣住民筍掘り（島田竹林）

★2013年4月27日

★2014年4月19日

一般公募 竹林整備（小谷竹林）

★2013 年 4 月 28 日　★2014 年 4 月 29 日

門真カブスカウト　竹細工教室

竹とんぼ作り　　会場　男山レクレーションセンター

★2014 年 5 月 18 日

カブスカウト隊員 16 名、引率者 4 名　計 20 名

会員参加 12 名

竹とんぼ作り　　四年　来ふうたな

始めはせつ明しょを見てもどうしたらいいのか見当もつきませんでした。なやんでいると竹クラブの方が声をかけてくれました。そして手伝ってくれました。すごくせつ明がわかりやすくて先生に教わっているようでした。ひごのかみで羽を作る作業は手がいたくなりとまどっていると「よし、あとはやったろう」とその作業も手伝ってくれました。たけクラブのみなさんと作った竹とんぼは、今まで見てきた竹とんぼの中で一番長く、高くとんでいました。一人では何をしたらよいのか見当もつかなかったけど、八幡たけクラブの方に教えてもらったのですごい竹とんぼが作れました。ありがとうございました。

ふれあいフェスタ 2013（さくら小学校）

ガリガリとんぼ作製

★2013 年 6 月 9 日

一般参加 54 名、 会員参加 13 名

水辺の匠おもしろステージ

ガリガリとんぼ作り

会場　滋賀県大津市南郷ウォターステーション琵琶

★2013 年 7 月 21 日

一般参加 57 名、 会員参加 6 名

★2014 年 7 月 20 日

一般参加 93 名、 会員参加 7 名

八小区福祉委員会竹細工教室

花器作り　　会場　交流センター

★2013 年 7 月 23 日

一般参加 16 名、 会員参加 6 名

招き猫作製　　会場　交流センター

★2014 年 7 月 30 日

一般参加 15 名、 会員参加 7 名

ノルディック体験会（西山足立集会所）

ストック提供によるウォーキング体験

★2013 年 7 月 24 日

今池竹細工教室（今池コミセン）

ふくろう笛作り
★2013年7月27日
一般参加24名、　会員参加9名
ガリガリとんぼ、マイカップ、花器、踏み竹作製
★2014年7月26日
一般参加23名、　会員参加10名

文化協会・チビキャン（男山レクセン）

水鉄砲作り・竹馬あそび
★2013年8月2日
一般参加30名、　会員参加13名

いきいきふれあいキャンプ（男山レクセン）

水鉄砲作り・ふくろう笛作り
★2013年8月4日
一般参加30名、　会員参加5名

四季彩館竹細工教室（四季彩館）

ガリガリとんぼ作製・竹細工展示販売
★2013年8月4日
一般参加10名、　会員参加12名

背割りの七夕まつり（背割り堤）

ガリガリとんぼ作製
★2013年8月10日
一般参加10名、　会員参加15名
★2014年8月9日

準備するも台風接近により中止

川口コミセン竹細工教室（川口コミセン）

ガリガリとんぼ作製
★2013年8月24日
一般参加12名、　会員参加8名
ブンブン蝉、マイカップ、お皿作製
★2014年8月23日
一般参加10名、　会員参加9名

さざなみフェスト(さざなみ公園　太鼓橋)

★2013 年 8 月 25 日
★2014 年 8 月 24 日

残念ながら共に雨天中止

文化協会・竹細工教室(交流センター)

竹とんぼ・竹こま作製
★2014 年 8 月 26 日
一般参加 13 名、　会員参加 13 名

すまいる八幡 2013・14(八幡中央小学校)

竹伐り体験と輪投げ
★2013 年 10 月 13 日
一般参加 61 名、　会員参加 12 名
竹とんぼ作り
★2014 年 10 月 12 日
一般参加 61 名、　会員参加 15 名

日本アウトドアー全国大会

会場　城陽市青少年野外センター
★2013 年 10 月 31 日

日本アウトドアネットワーク（JON）全国大会が城陽市の「公益財団法人　青少年野外活動センター　**友愛の丘**」にて一泊二日で行われました。全国のアウトドア関係団体などのリーダークラスの交流会で70余名が集い、総会、事例発表に続いて竹細工、パラグライダー、近隣観光の三コースに分かれて最後の半日を消化するスケジュールでした。竹細工については、同法人代表理事　明田　功　氏（前八幡市長）の推薦により八幡たけくらぶがお手伝いすることになった次第です。

竹細工参加希望者は福島、茨城、東京、岐阜、富山、京都、大阪、兵庫からの NPO 団体関係者、アウトドア業界関係者ら15名、20代から50代の何れも現役の男女です。

竹細工のテーマは事務局との事前打ち合わせで、実用品ということで、**孫の手、靴べら、ペーパーナイフ**の三点を作ることにしました。三つのテーブルに分かれ、各テーブルに八幡たけくらぶのメンバーが1～2名張り付き、出来たら機械を使わないでナイフ、鋸、サンドペーパー、錐の範囲で仕上げる計画でしたが、ナイフの使い方の巧拙もまばらで、時間切れの心配もあり、念のためとして用意したベルトサンダーが大いに活躍する結果となってしまいました。後の感想を求めたところ、ベルトサンダーに大いに関心を持たれた声が多く、次に、卓上保護の為に用意した竹細工作業台にも新鮮さを感じて頂きました。作品の出来栄えは皆さんが夫々、満足するものでした。　（寄稿　：　鶴見）

八幡市民文化祭（市民文化センター）

ガリガリとんぼ作製・パネル展示・竹細工展示販売

★2013 年 11 月 3 日

一般参加 95 名、　会員参加 26 名

★2014 年 11 月 2 日

一般参加 84 名、　会員参加 29 名

前日からの雨は小休止状態で曇り空。八幡文化センター1階ロビーに 9 時集合の連絡にも関わらず 8 時 30 分には参加者の大半が揃った。たけくらぶブースは着々とレイアウトが整う。いつものたけくらぶ独特の集合スタイル！今日は来年の干支「未」を中心に会員がそれぞれ工夫をこらした竹細工の販売と共にゲロゲロがえるを 100 人の子供に作ってもらうイベント！

市民文化際会場往復の市民の足は市から無料バス案内があり多くの市民が集まる。市を挙げての大きなイベントの文化祭！この文化祭に参加は八幡たけくらぶを多くの市民の方々に知っていただく絶好の機会。竹林整備や活動の記録を写真にしたパネル展示は必要不可欠！行き交う市民の方々がパネルの前で足を止めることが多い。

雨が降りそうで降らない空模様が幸いし予想以上の来訪者数。大ホールでは21サークルが舞踊、民謡、ダンス、オカリナ等を披露。文化センター前の広場模擬店には広場が狭く見える人だかり。

小児を対象にしたゲロゲロがえる作りは会員の熱心な指導の下 1 本の竹から次々にゲロゲロと産声をあげていく。子供と一緒にお父さんが一生懸命に作る様子も微笑ましい。準備に多くの日数を要した箱いっぱいの 100 人分のゲロゲロ材料は終了時間を待たずしてカラになってしまう。

竹細工販売も好評で販売棚ギュウギュウに置かれた未さん達も隙間が出来過ぎる程市民の方々のお手元に渡って行ってしまった。たけくらぶの PR、子供たちへの竹細工指導　製品販売のみならず交通整理の役割と多岐にわたる活動の一日となる。（寄稿：小林）

同志社幼稚園児・竹細工教室

会場　同志社幼稚園

ガリガリとんぼ作製

★2013 年 11 月 13 日

ガリガリとんぼ・うぐいす笛・ブンブン蝉作製

★2014 年 1 月 19 日　幼稚園児 100 名

桂徳ロマンチックナイト

会場　桂徳小学校グラウンド

★2013 年 11 月 30 日

一般参加 54 名、　会員参加 14 名

京都環境フェスティバル

会場　京都パルスプラザ

竹細工体験教室、パネル展示

★2013 年 12 月 14～15 日

一般参加 150 名、　会員参加 32 名

ガリガリとんぼ、竹こま、ブンブンぜみ、パネル展示

★2014 年 12 月 13～14 日

一般参加 139 名、　会員参加 29 名

フェステバルへの参加は 2012 年以来 3 回目で事前準備、当日会場での応対のチームワークなど大分手慣れたものとなった。前 2 回に比べて他の参加者の動向もゆっくり学ぶことが出来た。皆、環境問題への真摯な取り組み姿勢が窺われ、次回への課題として、当会の活動紹介から一歩踏み出した放置竹林問題アンケート参加型の賞品としての竹細工品交付等が考えられる。

期間中では「京都竹カフェ」代表の藤井先生、「竹文化振興協会」の渡邉先生のご来訪、「京都府立洛陽工高」生徒による竹細工品販売への協力約束、「NPO stop the 温暖化と環境保全クラブ」澤井代表からのＨＰリンク並びにコラボ活動のプロポーズ等々他団体との交流にも成果があった。

（寄稿　：　鶴見）

一般公募　若竹飾り体験教室

会場　生涯学習センター

★2013 年 12 月 23 日

一般参加 23 名、　会員参加 23 名

★2014 年 12 月 23 日

一般参加 30 名、　会員参加　のべ 39 名

（寄稿　：　上谷順子）

貴くらぶの若竹飾り講習会は今年で 5 年目だそうですが、私は 3 年振りで 3 回目の参加でした。

以前参加した時、参加者は各自で鉢に縄をまいていましたが、今回は縄をまく工夫がされている道具（？）があって、びっくりしました。想像するに、これまでの参加者の悪戦苦闘ぶりを見るに見兼ねて考えられたのでしょうか、感心しました。なかなかのものです。また、若竹を斜めに切るのにも立派な機械がありましたし、水引も結んであったので、正直自分ですることはなかった。

でも、立派な 3 本の青竹と縄の鉢さえあれば、あとは自分で色々とアレンジが出来ます。赤と白のハボタン、南天、松、梅、千両、赤い花を使いました。素敵な若竹飾りが出来ました。ありがとうございました。

普段の本来の活動に加え、何度もこういう機会を設けていただいて感謝しています。準備や後片付けも大変だったと思います。重ね重ねありがとうございました。

八幡市子ども会議（市民文化センター）

★2014年8月11日
一般参加23名、　会員参加7名

（寄稿：立命館大学 政策科学部 3年松崎千夏）

八幡たけくらぶの皆様

先日八幡市子ども会議としてインタビューをさせていただいた立命館大学の松崎千夏です。先日はお忙しい中お時間を取っていただきありがとうございました。

最初にしていただいたお話からは竹が放置されている現状や竹の様々な使われ方など、これからの活動にとても役立つ知識を得る事が出来ました。小学生、高校生共に感想を聞いてみると、しっかりと理解し、それぞれに真剣に受け止めていました。

また、竹とんぼ作りはとても楽しかったようです。小学生、高校生共に、昼ごはんを草々に食べ終え、外に出て竹とんぼで遊んでいました。竹という自然の素材に実際に触れて、竹の良さをこれまで以上に感じたと思います。

このお話していただいた内容は、12月の市長提言の参考にさせていただきます。また、この調査内容と提言内容については、1月末までに、報告書という形にしてお送り致します。

先日は本当にありがとうございました。今後とも八幡市子ども会議をよろしくお願い致します。

だんだんテラス・流しソーメン

会場　男山団地・男山中央センター
★2014年8月30日　会員参加25名

八幡小学校竹細工教室（小3）

ガリガリとんぼ作製と竹に関するお話

★2015年2月17日
小学生参加75名、　会員参加14名

八幡小学校から八幡たけくらぶに対し、竹細工教室を開催してほしいとの依頼がありました。始めての依頼ではありましたが、子供たちが健全に育ってくれる事を願って快くお引き受けしました。対象者は小学校3年生75名で、25名毎に3クラスに対して竹細工教室を開催しました。後に、小学校の先生からお礼の挨拶状と子供達一人ひとりが書いた寄せ書きを送ってくれましたので、以下に紹介します。

先生からのお礼状

会員の鶴見さんに「竹のお話」をして頂いた後、多数の会員の指導を受けながら「竹細工」（ガリガリとんぼ作り）をしました。後日、生徒達自らが竹くらぶ会員の皆様に感謝の気持ちを込めたメッセージを送ってきました。竹に対する興味が非常に高まった様子がうかがえます。

生徒全員で書いた感謝のメッセージです

授業風景

外部交流活動

三重県朝日町・

竹細工サークルとの交流

・日時：2013年7月13日（土）
・場所：展望の館

三重県朝日町の伊藤様から、八幡たけくらぶのホームページを見られて、竹細工同好会があるのを知り、交流会の申し込みがありました。

当日は、6名の方が訪問され、竹細工作品を相互に紹介しあいました。大変素晴らしい作品もあり、大変有意義な交流会でした。今後の竹細工同好会に活かすよう取り組みたいものです。

京都発・竹環境ネットとの交流

2014年6月に、NPOとんかちの紹介で木津市にある「京都発・竹環境ネット」の皆さんと、出会いがあり、特に「燻竹」を作成されていることから、たけくらぶの竹細工にも活用できることから交流が始まりました。

10月には10名の会員が参加し、竹伐りから燻竹作成まで体験し、展望の館の壁材用に燻竹を作成し、古くなった竹との交換も実施しました。竹環境ネットの筒井さんと中山さんには大変お世話になり好意的に燻竹作成にご協力を頂きました。我々も好意に対し、燻竹による竹細工を作成しプレゼントしました。これを機会に燻竹の竹材として展望の館で販売もする事になりました。

＜燻竹の作成風景＞

長岡京市・竹あそび

放置竹林整備団体との意見交流会

・日時：2014年1月26日（日）
・場所：長岡京こらさ
（長岡京市世代交流ふれあいセンター）
・参加者：おとなりさん互助会・野山竹炭ランド
NPO法人竹の学校
長岡京市環境の都づくり会議
久保川と天王山の森林を守る会
長岡京市環境経済部
長岡京市竹あそびスタッフ
NPO法人八幡たけくらぶ（3名参加）

長岡京市竹あそびのスタッフの呼びかけで、長岡京市の竹林整備団体との交流会に参加し、意見交換を行いました。伐採した竹をいかに有効活用できるか、自分たちが住む街に自然を残し、美しい竹林里山を保ち、若い世代に竹林との共生を知ってもらいたいという熱い思いは共通でした。また、八幡と長岡京とコラボして、拠点を三川合流地点に作って、互いに力を合わせていく投げかけをしようではないかとの意見もでました。

＜参加者からの話題＞

・竹林は手を入れなければ荒れる。
・竹林整備場所は山の傾斜がきつく、体力面も含めて会員が高齢化し、経験や技術だけでは難しいことも多い。
・子供たちには季節の折々に、筍掘りや、カブトムシのいる森に案内、竹灯籠の提供、竹細工での竹の性質や面白さを知ってもらう活動が原点。

サンフォレスターとの交流会

・日時:2014年11月16日
・場所:石清水八幡宮竹林、展望の館
<サンフォレスターからの御礼状>

昨年11月16日に、八幡たけくらぶに訪問させていただき、竹林整備の現地や活動拠点を見せていただく中で、丁寧な説明をいただき有り難うございました。

安全作業マニュアルを作成して安全作業を徹底されていること、竹材の運搬にVベルトを活用されていること、不要竹の処分に粉砕機を使用されていることなど、安全で効率的な作業が参考になりました。

また、展望台茶店を借りて活動拠点を作られたこと、竹細工同好会が竹細工の展示、販売をされていることなど、竹林の所有者や一般の方々との繋がりを大事にされていることも非常に参考になりました。

私たちサン・フォレスターは、会員数は現在34名で、木津川市にある「山城町森林公園」の一角の雑木林（約17ヘクタール）を中心に活動しています。

発足は1996年で、京都府と山城町（現木津川市）がボランティアを募集して、当初は行政主導で会員50名でスタートし、翌年から自主的な活動に移行し、ボランティア団体「サン・フォレスター」を組織して、毎月第1土曜、第3日曜を中心に森林保全活動を行っています。

フィールドは森林公園内にありますが、約8割が雑木林、約2割がスギ、ヒノキ人工林の里山で、春にはミツバツツジ、初夏にはササユリ、秋には紅葉など魅力が沢山あります。

また、モリアオガエルも生息しており、動植物の生息環境を維持することも活動の中心にしています。

伐採した広葉樹でのシイタケの栽培や、森林公園の他にも竹林や栗園を借用して、タケノコ掘りや栗の栽培もして、森の産物も楽しみに活動しています。

今後も、京都府南部で活動する森林ボランティア団体の交流を通じて、活動を盛り上げていきたいと考えています。サン・フォレスターの森にも是非お越しください。

（サン・フォレスター企画担当：由里　勇二）

洛陽ラボステーションとの交流

2014年12月13日から始まった「京都環境フェスティバル」の会場において、洛陽工業高校の生徒が、たけくらぶのブースに来て、自分たちで作っている竹細工の商品を売る場所の提供と、1人100円の株主になって欲しいと訪問してきました。

洛陽ラボステーションは、2014年11月18日に産経新聞に「洛陽工生の模擬会社で、間伐竹材で商品開発」でも紹介されています。これは、課外授業で模擬の株式会社を設立し、会社経営を体験する取り組みをしている生徒たちが、間伐竹材を加工した弁当箱やLEDスタンド、竹炭などを商品開発し、販売するものです。

「日本の伝統・文化、豊かな自然・風土を座標軸に、新たな価値の創造」を経営理念とし、森林資源の活用と放置竹林の問題解決などをテーマに掲げる会社です。また、利益の一部を東日本大震災の被災地に桜を植えるプロジェクトに寄付もされています。たけくらぶと活動理念が共通していることもあり、運営委員会で協力することになり、展望の館で竹細工販売をするようになりました。

グループ竹輪会との交流会

・日時:2015年2月22日
・場所:宮津吉野茶屋

山城広域振興局の山路様の仲介で、竹輪会と木津の竹環境ネットとたけくらぶの討論会を実施したいとの申し出があり、京都の舞鶴で燻し竹を使用して改装された吉野茶屋さんで行いました。当日は竹環境ネットからは理事長が参加され、たけくらぶからは4名が参加しました。又、京都の北と南のアンテナショップの協業について交流や、滋賀県立大学の藤木准教授の講演会にも参加しました。

会員の親睦

観桜会　会場 ： 展望の館

2013 年 4 月 7 日　35 名
2014 年 4 月 7 日　30 名

2014 年 観桜会に参加して （寄稿 ： 尾﨑進）

2014 年 4 月 7 日（月）に八幡たけくらぶ恒例の観桜会が「男山展望の館」で盛大に行われ30名のメンバーが集いました。

当日は天候にも恵まれて絶好のお花見日和となり、おつまみ・お弁当も美味しいものを沢山準備いただいたので初参加の方々とも和やかに懇談でき、参加者全員桜色に染まり気持ちよく展望台の桜をバックに記念写真に納まりました。

桜は八幡たけくらぶ発足の原点に関わっており、男山神應寺の老桜の大木が竹林に覆われ見る影もなく枯死寸前であったところを発足メンバーが「桜の大木救出大作戦」に取組み今では見事に花見が出来るまでになっています。

石清水男山展望台は八幡たけくらぶの皆様により整備され、花見シーズン・紅葉シーズンを問わず年中沢山の人が展望台に来られるようになりました。おかげで「展望の館」における竹細工展示販売も品薄になるほど売り上げも順調に推移しているようです。

整備された男山展望台よりの景観は、木津川・宇治川・桂川の三川合流、天王山から比叡山、京都市内から伏見桃山まで望み、夏は京都五山の送り火も見れるようになりました。これは偏に八幡たけくらぶの皆様方による展望台周辺整備のたまものです。 これからも観桜会のような懇親の機会が続くよう願い散会しました。

五山送り火　会場 ： 展望の館

2013 年 8 月 16 日 34 名
2014 年 8 月 16 日 30 人

五山送り火観賞会に参加して （寄稿 ： 新宮隆雄）

八幡たけくらぶの夏の行事として、展望台で 8 月 16 日の送り火観賞会（という飲み会？）が開催とのことで、新参者にとっては、皆さんと顔つなぎになる良い機会と参加させていただきました。

雨模様の夕闇迫る山道を登り、男山展望台には定刻に着いたつもりでしたが、すでに30数名の方々がお弁当や飲み物を前に、懇親会もたけなわ、よもやま話（竹細工はもとより、病気自慢？医者の事、なぜか弁護士の事、長生きの心得）等大賑わい。早速にいただいたビールで一息。加えて竹林整備の合間に摘んだ実を漬け込んだ梅酒、自家栽培のゴーヤのお漬物なども美味しく戴きました。中には、ビールは紙コップではと、マイグラス持参のこだわり派も！そうこうしているうちに雨の心配もなくなり予定通り点火とのニュース、暮れなずむ、展望台へ登ってこられる家族連れの懐中電灯の明かりが揺れ集まりだしました。八時大文字が点火されると、あれが大文字、どこだ？次が妙法、舟形、鳥居いや違うまだ時間やない、街の明かりだ、など大賑わい、カメラのモニター画面の方が自前の目より鮮明に見えるという新発見もありましたが、男山の展望台から望むパノラマに広がる送り火は、鴨川の堤防などから見る景色とはまた一味違う、古人のスケールの大きさをも実感。次の機会にぜひ一度ご参加されては？

研修旅行

2013 年 9 月 24･25 日 28 人 **（和歌山方面）**
2014 年 9 月 24･25 日 36 人 **（北陸能登）**

2014 年　研修旅行　　（寄稿 ： 中田三邦）

私は、親愛なる井藤學さんの日頃の熱心かつ誠実な活動振りを拝見して、2014 年 4 月から当クラブに入会させていただきました。また、今回の研修旅行は、私にとって初めてのものでしたが、会員の皆さんからとても親切にしていただきましたので、大変楽しい旅となりました。厚くお礼を申し上げますとともに、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、今回の旅行の目的地は能登半島でしたが、当地の自動車専用道路を「のと里山海道」と呼んでいるとおり、奥能登地域は里山保全活動に熱心なことで有名な

ところです。生物相が多様で、それらと人々の暮らしとの結びつきが強く、人間と自然とが共生している「里山」。バスの車窓から眺める景色からは「里山はまだ沢山残っている。しかし過疎化も着実に進んでいる。」という印象を受けました。

紅葉観賞会　　会場 ： 展望の館

2013 年 11 月 23 日参加者 29 人

紅葉観賞懇親会の思い出　（寄稿 ： 平野隆司）

2013年11月23日、29人の参加で展望の館にて開催。

私にとっては入会後初めての懇親会出席で興味津々。（懇親会メインディッシュは鍋料理。野菜は会員の家庭菜園から調達、アルコール類は有志の方々からの差し入れ、鬼おろし（大根おろし器）は会員自作の竹細工、会場準備は世話人の方々のご尽力で準備万端。至る所にボランティア精神が息づいている事を痛感しました。宴会は理事長挨拶ではじまり少々アルコールの入ったところで滑らかに自己紹介。館の中から美しい紅葉を見ながらの宴会は話に花が咲き各テーブル共談論風発。時間の過ぎるのも忘れ本当に楽しいひと時でした。このような懇親会を通して会員相互の親睦が促進できる事は「くらぶ」や「会員」にとって大変有意義な事だと思いました。

忘年会　　会場 ： 一の谷（牧野）

2013 年 12 月 17 日参加者 39 人
2014 年 12 月 18 日参加者 49 人

忘年会に初めて参加して　　（寄稿：林　勝文）

入会して３年程になると思いますが今回初めて忘年会に参加をさせて頂きました。参加メンバーの顔や名前が分らない人が大半の為、全員の名札をつけ席の場所もくじ引きと言うのが良いですね。どうしても知った人の近辺に座るのが普通ですがくじ引きの為初めて見る方と会話が出来たのが正解と思います。個性豊かな会員ですが好きな事を言え嫌みが無いのが良いですね。会社組織と違い柵が無いのがいいのでしょうね。宴会を仕切る事無く全体を盛り上げていったのも人生経験豊富な方達の手腕と思います。小生も雰囲気が良かったのでつい飲み過ぎ靴を間違えて帰るという問題を起こしました。雰囲気はいいのだが最後にこけたのが残念です。反省します。こんなおっさんですが今後共宜しくお願いします。

竹細工同好会

竹細工同好会活動

竹細工同好会代表世話人　日髙正昭

2005年にスタートした「竹細工同好会」で、諸先輩が、現在までに作品作成時に作られた、竹細工作成のマニュアルを集め、2014年11月に「竹細工同好会　竹細工マニュアル」として2分冊にして発行しました。

60余りの数にのぼり、私を含め、途中から入会し、竹細工を作成する者には絶好の参考資料となると思います。特に市販の作成マニュアルではなく、実際に作成に携われた諸先輩がおられるので解らない点を聞けるという利点があり、今後の作品作りを行う上で、非常に役立っていくと思います。

また、私は、入会時に鶴見さんより頂いた「ふでばこ」（展望台にも3冊程あると思います）という雑誌が竹細工をする上で非常に役立っています。まだ読まれたことのない方は是非読んでみられたらといいと思います。

竹の生態から筍料理、竹細工にいたることが書かれており日常の活動の中にも役立ちます。 この本の中に、竹細工をする上での基本となる白竹づくりのことが書かれており、「秋に原竹を伐採する　伐るところから仕上げまで、すべて自分たちの手で、**竹の生まれも育ちも知り尽くしてこそ、よい銘竹がつくれる**ものです」とあり、この章では、京都の竹材店が白竹の作成過程を詳しく述べておられます。

そのほか、私は、竹細工をあまり作っていない時期にも、三宅さんや後藤（文）さんに竹細工の竹を取りに行くが行かないかと誘われ、何に使うというあてもないまま、そのうち何かに使う時が来るだろうと誘われるたびに同行しました。また、活動時にも竹細工の先輩が伐倒した竹の中で竹を切り取り、持ち帰るのを真似して、取ってきては、白竹づくりの章の記事を参考に、干して、油抜きをして、再度干し倉庫に保管してきました。干す時も、場所がないので竹を紐で括り、軒先などに吊るしたので、風が吹く度にカラカラとなり、女房に近所迷惑だとこごとを言われながら、溜めこんできましたが、今になると溜めこんだことが作品作りに役立っています。それでも、いざ作品作りとなると、竹の色、太さ、肉厚など作品のイメージにあった竹がなかなか無く、ノギス片手に探すのに苦労します。イメージにあった竹がなければ、活動時に伐倒した竹の中で使えそうなものを持ち帰りますが、作品作りは、1年先延ばし（枯れ竹の場合は、直ぐ使います）となります。

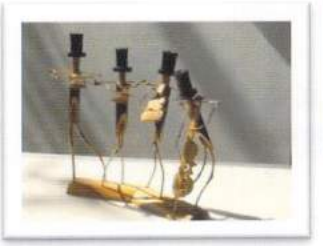
また、くらぶの研修旅行で、越前竹人形の里に行った時の職人さんに「同じような作品なのに値段が全く違うのがあるが、なぜ？」と質問した時、「作品をじっくり見たら分かる。どれだけ手をかけているか、それが見分けなければ安い方を買えばいい。」という返事が帰ってきて、まだ、作品の見方が出来ていないことに気が付きました。違う職人さんからは、「竹を見て何に使えるか曲った竹でも使い道で生きる。作品を真似することは、簡単だが、考えることが大事。教えてもらった事は、すぐ忘れる。技は、盗むもの」と言われた言葉が残っています。

そのほかにも、竹細工を始めたころ、回覧の竹細工の本に、バランストンボの作品作りの工程写真と説明記事があり、その最後に、「竹細工から工芸品といわれる作品作りに挑戦して欲しい」ということが書かれており、そのことが何時も気にしている言葉で、自分が気に入って、買いたいなと思う作品を作るよう心がけています。

「竹細工同好会」は、八幡たけくらぶの会員であれば誰でも参加でき、月1回の定例活動を中心に、楽しくまた熱心に作品づくりに励んでいます。

この2年間に実施した竹細工

実施年	月	テーマ(場所:交流センター)
2013	4	兜
	5	竹籠
	6	ガリガリとんぼ他講習
	7	ふくろう笛
	9	干支・丑
	10	干支・午
	11	イベント準備(3種)
	12	若竹飾り
2014	1	― 休み ―
	2	ひな人形
	3	阿波踊り
	4	兜
	5	ガラガラへび
	6	干支・未
	7	干支・申
	8	ガリガリとんぼ・ブンブンぜみ
	9	ウグイス笛
	10	干支(未)・ゲロゲロ蛙
	11	干支(申)
	12	若竹飾り
2015	1	― 休み ―
	2	雛人形
	3	二枚羽根ガリガリとんぼ



干支シリーズ

八幡たけくらぶ　竹細工作品

子

巳

丑

午

寅

未

卯

申 未完成

酉 未完成

戌 未完成

辰

亥

会員の広場

2013.4～2015.3 入会者の紹介（入会順）

＊井上　博實　　2013.04 入会

＊山本　武志 2013.04 入会

＊竹下　修史 2013.04 入会

納得！高値の竹細工作品

巷の竹細工店で販売されている作品が高価格なのには驚きでした。でも、竹伐りから竹の矯正（目的に応じて）、油抜き、不用意な竹割れ防止、適切な乾燥期間を設ける事等どの工程ひとつをとっても手を抜くことなく丁寧に処理した材料でないと製作に着手すべきでない事がわかり、技術力にも増して、いかに質の良い材料を準備するかが素晴らしい作品を生み出す条件であることを痛感しました。竹細工の価格が高いのも納得です。

＊井上　輝代己 2013.04 入会

話をする人が増えた

63 年続けてきた畳に関わる仕事を全面的に息子に譲り気が抜けていた時期に昔からよ一知っとる岡本（力）さんが「井上さんにピッタリの会があるよ！」と声掛けがあった！家にいて話をする事のない毎日と大違い！多くの人と話す時間が増えた。活動する竹林は家のすぐ近くで石清水八幡にも近い。力仕事はまかしとき・竹の特徴をよく知っとう自分にとっては毎日が楽しい！そんな様子をみて息子たちも喜んでいる。

＊平野　隆司　2013.05 入会

シニアライフを楽しむ

2013年5月3日石清水八幡宮の夜間拝観時、展望の館へ立ち寄った際、理事長や会員の方々から入会を勧められました。何かボランティア活動に携わりたいと思っていたこともあり翌日に申し込書を提出。実践活動に入り感じたことは

①会員の過去は関係なく平等な立場での言動に感動

②実践活動では終始作業を一所懸命真面目にがんばっておられる姿に感心

③四季折々の懇親会は会員相互の親睦を促進

これからも健康の許す限り微力ながら頑張っていきます。

＊上山　博嗣　　2013.05 入会

＊渡邊　千栄子　　2013.06 入会

＊松浦　一郎　　2013.06 入会

＊岡本　繁行　　2013.06 入会

＊谷口　創　2013.10 入会

平成 27 年 1 月現在 39 歳

庭師です。職業柄、竹をあつかう仕事が多く、以前から放置竹林に関心がありました。ご縁があって前理事長である西岡氏とお話しする機会があり活動内容とその人柄に触れ、その場で入会を決めました。年に数えるほどしか参加できていませんが、会員さんたちの若くパワフルな様に毎回驚かされています。男山展望台の美化活動など、地域の人間が地域のことを真剣に考える姿勢を少しでも見習いたいです。

＊川端　良光　　2013.12 入会

＊寺本　友治 2014.01 入会

竹は僕の原点

2014 年正月展望の館が開いていた。八幡と言えば「竹」そして元々竹には興味があり即入会！

たけくらぶ活動の１年間を振り返ると竹林整備は１回きりでなく継続が必要で放置すると密集した竹林に戻ってしまう。竹林作業はやりがいがあるという思いが湧上

る。１月から熊本に住まいを移すが八幡たけくらぶ会員は継続！九州でも竹林活動に参加する所存。熊本においでの際はいつでもお声かけを。
熊本市中央区国府本町 12-86　携帯 090-1593-7321

＊佐藤　法藏　　2014.01 入会

＊新藤　守一　　2014.04 入会

＊菊池　資直 2014.04 入会　再入会です、どうぞよろしく

私と「八幡たけくらぶ」とのご縁は、当会が初めて竹炭焼きの参加募集をされたおりに、親交のあった秋津川さんから誘いをうけて、共に入会した事からです。その頃の竹林環境は相当に荒廃しており手ごたえは十分でした。 鶴見さん・寳田さん達の熱のこもった主導のもと日々邁進、私も新鮮な思いで楽しく活動しておりましたが家庭の都合で退会しました。その後家庭も落ち着き理事長森脇氏から私のひま人ぶりを見かねて入会の勧誘を受け再入会！パワフルな皆さまの感化を受けながら頑張ってみようと思っております。

＊田中　晃吉・清子 2014.04 入会
八幡たけくらぶに出会えて

勤めを終えた私が毎日家の中で只時間を過ごしている生活に妻が痺れを切らしたのか、男山レクセンの竹炭焼きを一度見に行こうと誘いだされました。
竹炭焼きの初体験でしたが、親切に教えていただき感激！翌朝に竹炭、竹酢液をもらいに行くときには入会を決心しました。今では素晴らしいメンバーの方々との出会いに感謝し活動・行事を通してゼロから学び教えを頂き、たけくらぶと共に地域への奉仕に役に立つ様にと二人で思っています。

＊小島勇作・隆子 2014.04 入会
たけくらぶ入会は自然の流れ

私達は滋賀県で育ち知らぬ間に夫婦になって居ました。滋賀の湖東地区の竹林に囲まれ、夏は蚊、冬は霜焼けに悩み育ちました。ですから竹には馴染みがあり、10 年前に八幡市に転居して「八幡たけくらぶ」の存在を知りました。森脇氏の紹介もあって入会した次第です。寅年の私と猿年の女房で頑張りますので、宜しくお願いします。

＊大久保　正治 2014.04 入会
あれから 10 年

大分県出身で八幡に住んで40年。定年退職後はボランティア活動で八幡の街をきれいにと市役所へ。紹介されたのはシルバー人材センター！八寿園で管理全般を一手に引き受け10 年経過しました。
2014 年 3 月八幡市文化センター「みんなで創る福祉の集いで」で竹細工や活動パネルを見てたけくらぶの活動が私にピッタリと思い入会しました。筍堀や竹林整備に参加し楽しい一年でした。これからも活動を続けていきたいと思います。

＊吉川　洋一 2014.04 入会

＊中田　三邦 2014.04 入会
八幡で 40 年余

井藤學さんのご紹介で入会しました。戦時中の昭和 15 年に生まれ新潟県村上市で育ちました。昭和 48 年以降八幡市男山松里に住んでいます。
日本画を好み四季の変化に富んだこの風景を水彩画で描きたいとは思っています。

＊加藤　知幸　　2014.04 入会

＊杉本　義明 2014.04 入会
僕そして孫へ

以前、石清水八幡宮展望台の竹細工を見せて頂き何か夢を感じました。私自身も器用な方だと思っていましたが出来の見事さに圧倒されそれが入会させていただく切っ掛けになりました。孫にもいつか教えてやれる事を楽しみにしています。これからも良きご指導をお願い致します。たけくらぶという組織に出会えた事に感謝して出来る限り続けさせて頂きたいと思っています。

＊中谷　耕二　2014.04 入会

「継続は力なり」をモットーに

地域の活動に関わりたいと考えていた時、前職の先輩、平野さんから八幡たけくらぶの話を伺い、活動内容が関心を持っていた里山保護活動とお聞きし加入しました。現在民事調停委員の役を担い盲導犬育成ボランティアは 13 年目、公益財団法人関西盲導犬協会の理事職、ホストファミリーボランティアでは 16 年間で関西外国語大学の留学生 7 か国 28 人を預かりました。今後も地道に活動を続けていきたいと思っております。

＊東　藤人 2014.04 入会

展望台は僕のパラダイス　！！

家から歩いて 20 分の石清水展望台にフラッと立ち寄ったらベテランが竹細工をしていた。これは面白そうと早速入会！元々物つくりが好き、ベンチつくりや柵つくりはお手の物。僕が1時間ほどで作ったベンチに腰を掛けお弁当を広げている来訪者を見ると顔がほころぶ。次は屋根つきの休憩所でも作ろうかなと思う。

＊森　隆繁　　2014.04 入会

＊笹倉　修　2014.04 入会　竹細工に挑戦しています

竹細工がしたくなり教室などを探していましたが、家内が八幡たけくらぶの存在を聞きつけ早速展望の館へ行った所、丁寧な説明を受け入会しました。竹林整備に参加し竹をもらって帰り竹細工を始めましたが、最初は失敗ばかりでした。しかし多くの方々から色々教えて頂き最近は竹細工のこつが少しわかってきました。竹細工を始めると展望の館の製品がいかに素晴らしい出来栄えかと改めて感心しています。テーマは虫かご作りと決めて挑戦しています。今後もよろしくご指導お願いします。

＊吉川　信　　2014.04 入会

＊野村　威夫 2014.05 入会

たけくらぶに入会して

入会してみて定年まで勤めた仕事とまた違った楽しさがあり平均年齢 70 歳とは思えない元気な方々が多くパワフルでご一緒するだけで元気をいただけます。今年後期高齢者の仲間入りをしましたので体力とも相談しながら参加していきたいと思います。何も特技の持ち合わせがないのでお役に立てるかどうかお邪魔にならない様頑張りたいと思いますのでどうぞよろしくお願いいたします。

＊柴田　陽子 2014.06 入会

楽しいことが大好き！

井藤さん繋がりで入会しました。
趣味は和風エレキ（三味線）、歌です。
展望の館での竹細工販売のお手伝いはできます。
今後ともよろしくお願いいたします。

＊梅津　勉　　2014.07 入会

＊森岡　晢　2014.10 入会　一石二鳥と欲ばって？

私は 2014 年 10 月に入会させてもらいました。足腰の衰えをストップさせようとの思いからの入会でもあります。ただ作業参加は未だ数回ですから何にもわかっていません。今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。

＊梶　久俊　2013.04 入会　2015 年 3 月 2 日御逝去

入会して世間が広がった

旧知の岡本（力）さんが「たけくらぶがあるよと」声をかけてくれたのがキッカケ！元々木工が趣味！木は扱いが楽で自由に扱えるが竹はなかなか自由にならず難しい。小さくまとめた竹細工を試みても出来上がりがかなり大きくなるのは性格も影響しているのかも。仕事をしていてもたけくらぶの皆に会えることが楽しみになりわくわくする。
（展望の館のひび割れ土間にコンクリートを張って下さったのは梶さんです）

＊渡邊　剛　2013.06 入会　2014 年 4 月 10 日御逝去

活動実績・集計表

12年間の活動集計表

年度	竹林整備活動		普及啓発活動		竹細工・会議他		展望台活動		合計		会員数
	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	年度末現在
2003年	6	59	8	145	12	221			26	425	31
2004年	19	284	16	294	18	174			53	752	61
2005年	19	298	24	421	25	286			68	1005	62
2006年	21	374	32	676	34	436			87	1486	56
2007年	26	458	11	412	23	408			60	1278	58
2008年	34	778	12	423	15	338			61	1539	64
2009年	50	738	37	612	72	675			159	2025	68
2010年	72	987	30	535	74	741			176	2263	80
2011年	62	894	29	611	56	795			147	2300	81
2012年	59	811	40	749	67	938			166	2498	81
2013年	65	951	44	752	68	857	68	618	245	3178	89
2014年	59	943	40	739	65	976	126	1331	290	3989	100
合計	492	7575	323	6369	529	6845	194	1949	1538	22738	831

2年間の活動集計表

項目	2013年度（平成25年度）	
	回数	参加人数
竹林整備活動	35	617
粉砕活動	30	334
展望台活動	68	618
竹細工同好会	10	201
各種イベント	33	464
会議・打合せ	58	656
安全講習会	1	36
懇親会・研修会	10	252
合計	245	3178

項目	2014年度（平成26年度）	
	回数	参加人数
竹林整備活動	32	637
粉砕活動	27	306
展望台活動	126	1331
竹細工同好会	11	262
各種イベント	34	515
会議・打合せ	54	714
安全講習会	1	18
懇親会・研修会	5	206
合計	290	3989

過去12年の役員名簿

任意団体としての「八幡たけくらぶ」と、NPO 法人「八幡たけくらぶ」では役員の呼称が異なるので、NPO 化以前と以後の二つに分けて一覧表にしました。

任意団体期間の役員一覧

年度	役　　員	幹　　事　（順不同）
2003	鶴見達也（代表）　石野善幸（副代表） 寶田延由（会計）　尾野美佐男（会計監査）	
2004	鶴見達也（代表）　石野善幸（副代表） 寶田延由（会計）　尾野美佐男（会計監査）	三島之昌（記録）、菊池資直、高橋晥文、米澤賢祐、和泉真一、末光和子、 上谷耕造
2005	鶴見達也（代表）　石野善幸（副代表） 寶田延由（会計）　是枝昌一（会計監査）	秋津川忠弘（議長）、三島之昌（記録）、高橋晥文、和泉真一、末光和子、 上谷耕造、西岡力、中村哲彦
2006	鶴見達也（代表）　石野善幸（副代表） 寶田延由（会計）　是枝昌一（会計監査）	西岡力（事務局長）、上谷耕造、岡本淳次、神谷武志、合田洋一、末光和子、 高橋晥文、堀敬介、三島之昌、三島美知子、米澤賢祐、米澤美代子
2007	寶田延由（代表）　高橋晥文（副代表） 三島之昌（会計）　鶴見達也（会計監査）	西岡力（事務局長）、大塚萬次郎、岡本淳次、尾崎進、合田洋一、後藤文男、 末光和子、堀敬介、三島美知子、三宅洋、米澤賢祐、上谷耕造（顧問）
2008	寶田延由（代表）　高橋晥文（副代表） 三島之昌（会計）　鶴見達也（会計監査）	合田洋一（事務局長）、秋津川忠弘、井藤學、岡本淳次、尾崎進、大塚萬次郎 後藤文男、末光和子、西岡力、藤井勲、堀敬介、三宅洋、米澤賢佑、 上谷耕造（顧問）

NPO 法人化以降の役員一覧　（兼任者の重複記入は省く）

年度	理　　事	運 営 委 員
2009	西岡力（理事長）、井藤學（副理事長）、合田洋一（事務局長）、 後藤文男（会計）、岡本淳次、尾崎進、鶴見達也、寶田延由、 三島之昌	秋津川忠弘、大塚萬次郎、神谷武志、末光和子、藤井勲、 堀敬介、三宅洋、米澤賢祐、森脇勉、向井忠昭、 米澤美代子
2010	西岡力（理事長）、井藤學（副理事長）、岡本淳次（副理事長）、 合田洋一（事務局長）、鶴見達也（会計）、尾崎進、寶田延由、 三島之昌、三宅洋	秋津川忠弘、大塚萬次郎、神谷武志、後藤文男、 末光和子、鶴見達也、藤井勲、堀敬介、日高正昭、 向井忠昭、森脇勉、熨斗信治
2011	西岡力（理事長）、井藤學（副理事長）、岡本淳次（副理事長）、 合田洋一（事務局長）、鶴見達也（会計）、日高正昭、寶田延由、 三島之昌、三宅洋、向井忠昭、森脇勉	秋津川忠弘、大塚萬次郎、神谷武志、後藤文男、 熨斗信治、藤井勲、堀敬介、米澤美代子、中島進、 坂口光正
2012	西岡力（理事長）、井藤學（副理事長）、岡本淳次（副理事長）、 森脇勉（副理事長）、合田洋一（事務局長）、鶴見達也（会計）、 日高正昭、寶田延由、三島之昌、三宅洋、向井忠昭、	秋津川忠弘、大塚萬次郎、伊藤繁、神谷武志、後藤文男、 中島進、熨斗信治、藤井勲、堀敬介、米澤美代子
2013	森脇勉（理事長）、岡本淳次（副理事長）、三宅洋（事務局長） 西岡力（会計）、井藤學、合田洋一、鶴見達也、日高正昭、 寶田延由、三島之昌、向井忠昭、熨斗信治	秋津川忠弘、大塚萬次郎、伊藤繁、後藤文男、坂口光正、 中島進、藤井勲、堀敬介、米澤美代子、渡邊勉、 小林喜美代、竹下修史
2014	森脇勉（理事長）、西岡力（副理事長）、熨斗信治（副理事長） 三宅洋（事務局長）、日高正昭（会計）、岡本淳次、井藤學、 合田洋一、鶴見達也、寶田延由、三島之昌、向井忠昭	秋津川忠弘、伊藤繁、大塚萬次郎、岡本力夫、後藤文男、 小林喜美代、坂口光正、竹下修史、藤井勲、堀敬介、 米澤美代子、渡邊勉、籠谷正司、船木基司

12 年間の活動記録

定例的な竹伐り、粉砕活動は省略し、イベントなど定例化した活動は初回のみの記載とした

年度	月	主な活動項目	記事
2003	4	・発起人会(5 名)	・設立趣意書、会則の取り纏め
	5	・第 1 回竹炭焼きイベント	・3 日間コースで一般市民参加を求め実施、新会員増に大きく貢献
	6	・創立総会	・会員数 16 名でスタート、役員選出など。年会費は 500 円
		・「八幡たけくらぶ通信」発行	・会員への行事連絡として毎月発行
		・男山の竹の生態観察	・6 月は外周から、9 月は三つの散策路沿いに観察
	10	・男山の竹の分布調査	・全山踏査し、竹の分布地図を作成、生涯学習フェアで発表
		・八幡市文化協会に入会	・自然文化部会という位置づけで入会
	11	・八幡市民文化祭に参加	・竹細工体験コーナーと写真パネルで会の紹介、竹細工展示
		・橋本公民館竹細工教室	・公民館行事として、初めて竹細工教室を実施
	12	・若竹飾り作り	・正月用、若竹飾り創りを公民館行事として実施
		・活動拠点小屋の提供を受ける	・神應寺より活動拠点として浴房小屋の提供を頂く。
		・除夜の鐘撞きと年越しそば	・神應寺の集客とクラブのPRにと実施
	2	・モミジ苗木の植樹	・こもれびルートの南斜面の竹を皆伐し、モミジ苗木を植樹
2004	6	・神應寺てらこや誕生	・衆寮を整備し、「神應寺てらこや」と名づけ、竹細工や打ち合わせ会などに使わせて頂いた。
	7	・第 1 回幹事会	・活動のスタッフとしての幹事会制度を導入
	8	・活動助成金交付決定	・「セブン・イレブンみどりの基金」から環境市民ボランティア活動助成金交付受ける。
	9	・ヤマザクラ救出大作戦	・こもれびルート入り口付近、竹に囲まれたヤマザクラの大木(専門家の見立ての樹齢7～80 年)を竹の呪縛から解放しようとの市民公募事業を実施。新聞各紙の事前取材記事もあり 60 名集まる。
		・朝日新聞で大きく活動紹介	・「風景を歩く」に会の紹介を詳しくされ、反響が大きかった。後に全ての記事が「風景を歩く」として 2 冊の単行本になり、市販された。
	1	・NHK テレビの収録と放送	・「西日本の旅」の中で約 15 分位、当会の活動模様が紹介された。DVD 保存版あり
		・第 1 回神應寺紅葉まつり	・神應寺主催、当会は協賛で実施、2日間で延べ 700 人の参加有
	3	・「私の樹」 植樹会	・神應寺主催で市民公募のモミジ苗木の植樹会を実施
2005	4	・第 3 回年次総会	・市民交流センター
		・ヤマザクラのお花見	・前年救出したヤマザクラが見事に開花、お花見会を実施
		・会報第 1 号発行	・2 年間の活動記録を纏めて会報を発行
	5	・竹細工同好会発足	・神應寺てらこやで竹細工分科会としてスタート
	6	・八幡高校で講演	・1 学年総合学習時間に「男山の竹と緑」と題して当会活動を紹介
	11	・大阪芸術大学で講演	・「環境緑化論」講座の一環で、竹の生態竹林とボランティアについて講演。以降毎年 1 回 5 年間続いた。
	1	・第 5 回竹炭焼き	・延 4 日コースで、竹伐から実施、乾燥してない竹のため、密閉までに 9 時間以上かかった。
	2	・NPO 化勉強会	・NPO 法人「あったかサポート」笹尾達朗常務理事の講演
	3	・小谷フィールド着手	・昨年6月来手紙でお願いし、承認を得て活動開始

12 年間の活動記録

年度	月	主な活動項目	記事
2006	4	・小谷フィールド初めての筍掘り	・小谷 F で初めて筍掘りが会の行事となった。
		・事務局体制の導入	・事務局長を選任、企画・提案機関としての事務局会議発足
	7	・竹の巨大モニュメント作り開始	・第 2 回神應寺紅葉まつりに向けて人形、カニ、カマキリ、トンボ何れも1m 以上の竹細工に取り組む。
	8	・初めての親睦・研修旅行	・舞鶴の関電関連会社にて竹チップの炭化モデルプラント見学、越前竹人形の里で竹細工の勉強等々、親睦一泊旅行実施
	10	・お月見会	・市民交流センターで初めての懇親会
		・渡邊政俊先生講演	・竹の生態学の専門家、男山散策ルートを一緒に歩いて頂き、フィールドレクチャーと併せて約 3 時間竹について講演頂いた。
	1	・京田辺市立薪小、竹細工指導	・4学年3クラス80人を対象にユラユラトンボの竹細工指導
	2	・八幡市後援 第 6 回竹炭焼き	・八幡市が購入した窯での初めての活動、従来の窯は長岡京市から有償借用していた。
		・浄土宗児童教化連盟、 全国指導者講習会で竹細工指導	・京都ロイヤルホテルにて全国から集まった 45 名のお坊さん方にゆらゆらトンボ、カニ、バッタの作り方を指導
	3	・市民交流センターに収納庫設置	・主として竹細工関係の機械、道具類を収納
2007	4	・第 5 回年次総会	・市民交流センター
	7	・粉砕機導入整備活動	・除伐廃竹、粉砕機でチップ化の作業、K－キャットTV放映、京都新聞取材記事記載された。
		・一般公募 竹細工教室	・文化協会と協同主催、八幡市教育委員会後援
	9	・研修旅行・小浜竹炭生産組合・竹匠せいわ見学	・福井県、小浜竹炭生産組合を訪問、竹炭作り、設備見学 ・竹匠せいわでは、竹箸作りを見学
	11	・森林ボランティア交流会参加	・フォレスター宇治主催の森林ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱへ、2名が代表参加
		・京都大学フィールド化学教育センターの見学	・京大、農学博士柴田昌三教授に教授を受ける。標本館見学、「竹の家」にある地下茎形態標本等竹について学んだ。
	12	・八幡ロータリークラブ30周年記念行事に協力	・記念行事は「男山散策の集い」とし、エジソン碑前で開会式、八幡宮境内や社殿見学、こもれびルートを神應寺山門まで散策「たけくらぶ」は、案内と竹細工の土産提供を行った。
2008	4	・第 6 回年次総会	・コミュニティセンター「月愛」
	5	・上林F、粉砕活動	・MGVより粉砕機借用、伐採した竹のチップ化後、現場に散布
	6	・上林F、粉砕活動	・MGVより粉砕機借用、5月に続き活動実施
		・研修会、	・講師 市大教授 野邑奉弘先生の講演会 演題、「高知県、春野町の除伐竹の有効利用施設ついて」
	9	・研修旅行（三重県、伊勢方面）	・製炭炉（PRO方式）の見学、障害者施設「ありんこ」の見学、「いつきのみや歴史館」「斎宮歴史博物館」を見学した。
		・八幡市里山再生協議会 「放置竹林整備事業」活動	・八幡市里山再生協議会、最初の「竹林整備」活動を実施、当日協議会で購入した粉砕機による粉砕活動も同時開催
	2	・NPO設立総会	・記念講演、立命館大学副総長「本郷真紹」先生、 詳細は会報3号参照
2009	4	第 7 回年次総会	・コミュニティー月愛
	5	森林ボランティア交流会	・山城振興局主催、松愛会・八幡たけくらぶ参加、粉砕活動と竹細工を実施
	6	京建労主催住宅相談会	・会場で竹細工教室を実施
	7	背割り堤“七夕まつり”	・国土交通省・京都府主催の三川合流地点「七夕まつり」実行委員として選ばれ、竹の提供、灯籠製作、竹細工教室で参加

2009	8	四季彩館、夏休み行事に協賛	・展示場に活動紹介パネル展示(15 日間)、 期間中の日曜日(2回)には、子供対象に竹細工教室実施
	9	一般公募竹林整備体験会	・上林Fにて、国土緑化助成金活動として、竹林整備を実施
	10	八幡小学校"子供まつり"	・活動紹介パネル展示と竹伐り体験会を実施
	11	「ええもん発見市in山城」参加	・山城振興局主催、会場・・宇治公園中之島に竹細工販売と 竹細工体験会で参加
	2	八幡市、子供文化祭	・会紹介のパネル展示と竹細工体験会で参加
	3	福祉の集い	・会紹介のパネル展示と竹細工体験会で参加
2010	4	地権者筍掘りの応援	・小谷Fにて、地権者家族・従業員、筍掘りを応援
		第 8 回年次総会と講演会	・講演会　講師竜大　土山准教授　会場「ふれあいセンター泉」
	6	京都知事の現場訪問	・KBSテレビ放映、知事山田啓三氏が竹細工活動見学
	7	日帰り懇親会	・サントリー工場見学
	8	男山公民館講座	・子供竹細工体験会、テーマ「ブンブンぜみ」
		文化協会行事、	・"こどもの広場"チビキャンとの共同活動、テーマ「水鉄砲」
	9	研修旅行	・鳥取。倉吉方面 1 泊 2 日
	10	スマイルやわた2010	・身障者のための、イベントに竹伐り体験と輪投げで参加
	11	生涯フェスティバル	・生涯学習センターの行事、竹細工教室実施テーマ「野菜鉄砲」
	2	京都創造基金に加盟	・寄付者が税制優遇受けることが出来るNPOに、審査の結果/ 採択
2011	4	一般公募竹林整備	・一般市民公募による竹林整備活動、小谷Fにて実施
	5	第 9 回年次総会と講演会	・「ふれあいセンター泉」にて実施 講演は石清水八幡宮、禰宜「西　中道氏」
	7	会報第 4 号発行	
	11	交野ゆうゆうの会活動見学	・交野倉地公園にて、交野小学校児童 121 人の体験学習を見学
	12	交野ゆうゆうの会との交流会	・交流センターにて、ゆうゆうの会 26 名、八幡たけくらぶ 35 名 参加による交流会を実施
	2	懇親会	・伏見・酒蔵見学
	3	ボランティア交流フェステバル	・山城振興局主催のイベントに、活動紹介パネル展示で参加
		日帰り視察研修旅行	・宮津市の竹の有効利用施設見学と宮津市長と懇談会
2012	4	橋本地区近隣住民筍掘り	・粉砕作業時の騒音の協力に感謝し、筍掘り体験会を実施
	5	第 10 回年次総会と講演会	・「松花堂ギャラリー」にて実施 講演会、講師　まちかど博物館館長、高井輝雄様
	6	八幡市里山再生協議会活動	・男山雄徳の放置竹林整備
	7	パソコン同好会発足	・会員の連絡にメール活用をと、パソコン使用の勉強会実施
	8	男山展望台集会所開設・整備	・集会所として、展望台の舘を借り受ける、所有者小谷公穂様
		わくわくワーク祭	・宇治青年団主催、竹細工教室と活動紹介パネル展示で参加
		今池公民館講座	・城陽市、今池コミセンにて、子供対象の竹細工体験会を実施
		ノルディックウォーキング体験会	・山城振興局主催ボーイ・ガールスカウトノルディックウォーキング 大会に竹のストック創りの講師として参加
	9	10 周年記念行事	・八幡たけくらぶ 10 周年行事計画実行委員会を発足
		三重県庁、活動見学に来訪	・環境課から、活動の内容見学と会運営の実態見学に来訪
		足立会・女性部竹細工体験会	・西山足立地区、女性部活動に竹細工教室実施
	11	NHKテレビで放映	・NHKテレビ"ニュース610"で展望台集会所から生放送で活動 が紹介された。　放送内容は、集会所にビディオを保管

2012	12	京都環境フェスティバル	・京都見本市会館にて竹細工体験会実施“俳優　福くん”も体験
	1	京都創造基金説明会	・運営委員会において、京都創造基金の内容説明と質疑応答
		社会的認証機構	・第 3 ステップ取得のためのヒヤリングに 3 名来訪
	2	子供文化祭	・竹細工教室と活動紹介パネル展示で参加
	3	10周年記念イベント	・ノルディック・ウォーキング大会を展望台スタート・男山散策コースで実施、堀口市長にも激励の言葉を頂く。
2013	4	一般公募竹林整備・筍掘り	・竹林整備/小谷竹林　・筍掘り/大寅社員、島田近隣住民
	5	灯燎華・・竹灯籠で参加	・展望の館開館と展望台への参道に竹灯籠を設置協力
		第 11 回年次総会と講演会	・「松花堂ギャラリー」にて実施・/竹の概要と研究開発の現状 講演:京都府立大学　吉田裕三氏
	6	本妙寺竹林の整備請負開始	・運営委員会メンバーで検討／結論・7 月・テスト的に開始
		ふれあいフェスタ2013参加	・竹細工教室(ガリガリとんぼ／さくら小学校)
	7	イベント協力・参加	・「水辺の匠」竹細工教室:ガリガリとんぼ／南郷水産センター ・「ノルディックストック＆ウォーキング」西山足立婦人部 ・「竹細工教室」花器／八幡福祉委員会　他
	8	イベント協力・参加	・「チビキャン」水鉄砲・竹馬／文化協会:男山レクセン ・「いきいきふれあいキャンプ」水鉄砲他／男山レクセン ・「三川合流七夕祭り・竹細工教室」／背割堤　他
		会員交流・懇親会	・五山の送り火観賞懇親会:展望の館
	9	安全講習会	・日本赤十字社/救命処置コース・応用手当コース／四季彩館
		一泊研修旅行	・和歌山方面
	11	竹林整備場所の追加・日程変更	・第一土曜日の場所「小谷・神應寺竹林」と「本妙寺竹林」を交互に実施(運営委員会にて決定・通信で公報)
	12	一般公募若竹飾り作り	・若竹飾り体験会
	1	八幡たけくらぶリーフレット更新	・理事長名、連絡先等更新、及び内容の刷新
	2	淀川河川公園冬祭り・新企画	・竹細工教室で参加予定だったが荒天で祭り中止
	3	竹炭焼き　他イベント協力	・福祉のつどい、子供文化祭　等参加
2014	4	灯燎華・・参加・協力	・竹人形モニュメント・竹灯籠でライトアップ、展望の館開館協力
	5	第 12 回年次総会と講演会	・松花堂ギャラリー／講演:三津井博昭氏;㈱イ・エム・コンセプト・アジア代表取締役社長「マイノートの書き方」
	6	竹林整備活動日・時間の変更	・通信(138 号)で公報・・7 月より実施
	7	イベント協力・参加	・「いぶし竹交流会」開始、「水辺の匠」「今池コミセン」他
	8	イベント協力・参加	・淀川三川交流七夕、だんだんテラスイベント　他
		会員交流・懇親会	・五山の送り火観賞懇親会:展望の館
	9	一泊研修旅行	・越前竹人形の里
	10	第一回竹細工機械講習会/他	・「ガリガリ溝切機」/展望台工作場、「いぶし竹体験会」/木津
	11	会報 6 号編集委員会発足	
		イベント協力・参加	・八幡市民文化祭、サンフォレスター交流会　他
	12	イベント協力・参加	・京都環境フェスティバル
		一般公募若竹飾り作り	・若竹飾り体験会
	1	展望の館正月有志開館／2 年目	・年始挨拶・・くらぶ PR・竹細工作品展示:干支他販売
	2	イベント協力・参加	・「八幡小・竹細工教室」竹のお話・ガリガリとんぼ／小3・75 名 ・「こども文化祭」／文化センター
	3	イベント協力・参加	・みんなで創る福祉の集い／福祉センター

編集後記

NPO法人八幡たけくらぶは、設立後12年を経過し、2年ごとに発行している会報も第6号を発行する運びとなりました。発行にあたり編集委員会を立ち上げ、2014年10月第一回編集委員会を開催、以後7回の委員会を開催し纏めあげました。
各項目毎に、担当を決め編集致しましたので、統一性に欠ける部分がありますが、執筆者の想いを尊重し編集いたしましので、ご容赦願います。編集委員の皆様のご苦労に感謝申し上げます。

八幡市長　堀口文昭様、　山城広域振興局　澤井俊秀様、　石清水八幡宮　田中恒清様、本妙寺小島研信様、他の多くのご寄稿頂き、一段と重みのある会報になったと思います。ご協力いただいた皆様方に厚く御礼申し上げます。

会の趣旨に賛同して集まった仲間が、現在100名を超え、活動も充実してまいりました。
今後も、活動を通じて八幡市や一般市民のお役に立てるよう努めますので、一層のご指導、ご支援をお願い申し上げます。

編集責任者　西岡　力

編集委員（五十音順）

小林喜美代、　坂口　光正、　竹下　修史、　西岡　力、　三宅　洋、　森脇　勉

発行日	2015年5月
発行責任者	特定非営利活動法人　八幡たけくらぶ　理事長　森脇　勉
住所	京都府八幡市欽明台中央11－1　（理事長　自宅）
電話番号	075－983－2730　携帯　090－2447－3835
Email	tsutomu-moriwaki@iris.eonet.ne.jp

http://www7a.biglobe.ne.jp/~takekurabu/